

静岡県協働パイロット事業 (H29) 企画提案書

団体名：NPO法人しずおか共育ネット

1 事業のタイトル

定時制高校生のための生き抜く力を育む事業

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください。)

<課題・背景>

(1) 定時制高校生に多様な「人との繋がり」の場と「社会的経験の機会」を提供する。

昨年度、定時制高校で実施した就職未決定者に対する就職応援カウンセリングでは、就職が決まらない生徒は①コミュニケーションが苦手(人と話せない・声がでない・会話が成立しない。)②仕事を知らない(仕事の選択肢が狭い・求人票を見ても仕事がイメージできない)ことが共通していました。そこで、早期の段階から、定時制高校生に①コミュニケーションの苦手を克服できる「人との繋がり」の場と②仕事について知る「社会的経験の機会」を提供することが必要だと考えます。

(2) 定時制高校の4人に1人は就職も進学も決まらないまま高校を卒業していく状況を改善する。

高校卒業後の進路未決定者の割合は全日制が4.8%に対し、定時制では27.9%(文部科学省学校基本調査)であり、定時制高校の4人に1人は進路が決定しないまま高校を卒業します。進路未決定者や中退者は、公的な就労支援機関である「ハローワーク」や「地域若者サポートステーション」等を利用するまでにブランクがあります。そのため、卒業後、働かない期間が何年もあり、その後ようやく就労支援機関に繋がっている現実があります。このような状況を解消するため、高校在学中の早い段階から、高校生に就職希望者が1人でも多く進路が決定し、進路未決定のまま卒業していく高校生を1人でも減らしていくことを目指します。

(3) 定時制高校生に対するキャリア支援の実施により、将来にわたる税収減・扶助費増を抑制する。

静岡県の高卒若年無業者は約6900人と推計されます。もし1人が高卒初任給の平均161,300円をもらい、1年間働いた仮定すると所得税+住民税は年間約98,000円、国民年金・医療保険・雇用保険をあわせた社会保険料は年間約277,000円、合計約375,000円になります。

仮に6900人全員が1年間働くと、社会的損失約26億円を回避することができます。

定時制高校生に対するキャリア支援の実施により、将来にわたる税収減・扶助費増を抑制することが期待できます。

※本事業提案は第2次静岡市子ども・若者育成プランの下記施策に関連した提案になります。

施策の柱(3)困難を抱える子ども・若者とその家族への支援①ニート(若年無業者)、ひきこもり、不登校等の困難を抱える子ども・若者とその家族を支援する。

施策の柱(6)子ども・若者の生活の場におけるネットワークづくりの推進②家庭・学校・地域・民間(事業者)が協力して子ども・若者の育成を目指す活動に取り組む

<事業概要>

① 定時制高校内居場所事業

定時制高校内において、生徒が気軽に集まることができ大学生や地域の社会人と交流ができる場所を定期的に設ける。

② 定時制高校向けインターンシッププログラム開発事業

定時制高校の生徒に特化したインターンシップ受入企業の開拓を行う。

③ 就職応援個別カウンセリング事業

定時制高校内にて就職未決定者の個別カウンセリングを実施する。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

【団体の担う役割】

実施高校との事前打ち合わせ、居場所事業の実施、インターンシップ受入企業開拓、就職応援個別カウンセリング等計画した事業を実施します。

【静岡市の役割】

青少年育成課との協働を想定しています。

具体的には、

- ① 高校との調整・居場所事業における協働
- ② 行政関係機関等でのインターンシップ受入先開拓における協働
- ③ 就職応援個別カウンセリングにおける助言

を想定しています。

4 事業計画・実施スケジュール

①定時制高校内居場所事業

7～8月 高校との事前打合せ実施・先生との事前意見交換会実施
実施に向けた準備（備品準備・運営メンバーの打ち合わせ）

9月 生徒への事前オリエンテーション実施

9月～2月 隔週1回 定時制高校内にて高校内居場所事業を実施（月2回合計12回実施を想定）
・実施場所、実施曜日、実施時間については高校と調整のうえ決定。
（1回あたり6時間程度を想定）

2月 先生との事後意見交換会実施

②定時制高校向けインターンシッププログラム開発事業

※今年度は、受入企業の開拓をメインミッションとして実施。

7月 高校との事前打合せ実施
企業開拓実施（目標：20社）
プログラム開発・企業打合せ

9月 インターンシップ紹介チラシ作成

10月 生徒へのオリエンテーション実施

10月～随時

希望者へ随時インターンシップ紹介・マッチング
事前学習・事後学習

③就職応援個別カウンセリング事業

9月 高校との事前打合せ実施

10月～隔週1回 定時制高校内にて就職未決定者の個別カウンセリングを実施

(月2回合計10回実施を想定)

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

(1)実施体制

- ・ 主担当者：井上美千子（国家資格キャリアコンサルタント・認定キャリア教育コーディネーター）
- ・ 補佐担当（居場所事業担当）：天野浩史
- ・ 補佐担当（企画、運営補佐）：太田大介
- ・ 運営スタッフ：学生リーダー他協力者

(2)主要スタッフ・井上美千子経歴

- ・ 静岡県人づくり推進員
- ・ 静岡市政策・施策外部評価委員会委員
- ・ 特定非営利活動法人静岡フューチャーセンター・サポート・ネットESUNE監事
- ・ NPO法人男女共同参画フォーラムしずおかスタッフとして2015年より静岡市生涯学習推進課主催地域デザインカレッジ事務局を担当

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

(1)専門性

NPO 法人しずおか共育ネットの前身団体きやりこみゅ²は、2012年の発足以来、定時制高校の先生方との信頼関係を構築し、ワークショップの実績を積み上げてきている。

また、代表の井上はキャリアコンサルタント（国家資格）・認定キャリア教育コーディネーターとしての実績を生かし本事業に携わる事ができる。

なお、就職応援個別カウンセリングについては2016年10月より市内の定時制高校において半年間ボランティアとして5名の就職未決定生徒の就労カウンセリングを週1回程度実施。一般就職決定1名、障がい者雇用枠就職決定1名、サポートステーションへの紹介2名（その後アルバイト決定1名、継続サポート1名）、アルバイト継続1名の実績となった。

(2)独自性

現在、静岡市にて実施している事業は、義務教育の小中学校児童・生徒への支援は「子ども若者支援センターでの相談業務」「適応指導教室の運営」「ひとり親家庭及び生活困窮世帯への子どもへの学習・生活支援」等、充実している。一方、約99%が進学する高校(義務教育以降)の生徒への支援体制は、十分整備されているとは言えず、支援の空白地帯となっている現状がある。そこで、高校生への必要な支援を充実させることで、中退予防、卒業後のニート引きこもり予備軍の減少に繋がる取り組みであると考える。

(3)先駆性

本事業は、静岡市、高校の先生方と連携し、年間を通して高校生に「人とのつながりの場」と「社会的

経験の機会」を提供する体制を構築していく全国的にも先駆的なモデル事業だと考える。様々な生きづらさを抱えた定時制の高校生には、画一的ではなく多様な支援・アプローチが必要である。そこで、今回は、3つのアプローチからコミュニケーションの苦手を克服することができる機会と仕事について知れる機会を提供し、卒業時の進路未決定者を1人でも減らしていきたいと考える。

また、実施高校の校長先生・教頭先生・進路課の先生とは昨年度より事業実施に向けた打ち合わせを重ねており、様々な生きづらさを抱えた高校生の外部からの支援の必要性について認識頂いている。本事業実施により、文部科学省の掲げる「社会に開かれた教育課程」の具体的取り組みとして地域の人的・物的資源を活用し、高校と地域社会が連携し社会課題を解決するモデル事業にも繋がると考える。

(4)実績

2012年 静岡市生涯学習推進課主催人材養成塾地域デザインカレッジ受講生3人で活動をスタート

静岡県立静岡中央高等学校でのヒアリング調査実施

静岡市人材養成塾地域デザインカレッジ「コーディネーター賞」受賞

2013年 静岡県立静岡中央高等学校で将来を考えるワークショップスタート

2014年 静岡市人材養成塾地域デザインカレッジ専門コース「コーディネーター賞」受賞

2015年 静岡市立高等学校・静岡県立駿河総合高等学校で将来を考えるワークショップ実施

2016年 しずおか共育フォーラム開催

(京都造形芸術大学教授本間正人氏の笑顔のコーチングセミナー実施)

静岡市協働パイロット事業 高校生×社会人「高校生記者が創る静岡オトナ図鑑」委託

2017年 しずおか共育フォーラム vol.2 開催 (岐阜県立可児高等学校浦崎太郎教諭の講演会)

静岡市立高等学校キャリアデザイン学習・社会人講師派遣コーディネート

NPO法人しずおか共育ネット設立 (縦覧期間中)

(5)2年間継続することの効果

居場所事業が定着し、更に多くの生徒が参加しやすい環境となることで、人との繋がり、支援のきっかけが増加するとともに、インターン先企業の開拓拡大により就職応援個別カウンセリングの効果が高まる。

また、取り組みを市民や企業等にも広く認識頂き、寄付・協賛等の協力を得られるような支援体制の構築が図られる。

(様式4)

静岡市協働パイロット事業 (H29) 見積書

団体名：NPO法人 しずおか共育ネット

事業のタイトル：定時制高校生のための生き抜く力を育む事業

項目	金額	説明 (算出根拠)
①定時制高校内居場所事業 にかかる費用	234,000 円	・運営責任スタッフ人件費 9,000 円*12 回=108,000 円 ・運営ボランティアスタッフ交通費 1,000 円*5 人*12 回=60,000 円 ・保険代 300 円*5 人*12 回=18,000 円 ・飲み物・お菓子・コップ等備品代 4,000 円*12 回=48,000 円
②定時制高校向けインター ンシッププログラム開発に かかる費用	50,000 円	・企業開拓交通費 1,000 円*20 社=20,000 円 ・インターンシップ紹介チラシデザイ ン・印刷代 30,000 円
③就職応援個別カウンセリ ングにかかる費用	90,000 円	・キャリアカウンセリング人件費 9,000 円*10 回=90,000 円
④活動にかかるその他実費	10,000 円	コピー代・事務用品代・郵送費等
小 計 A	384,000 円	
消費税 B = A × 0.08	30,720 円	
合 計 A + B	414,720 円	

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途